

令和4年度全国学力・学習状況調査（小学6年生）の結果をお知らせします

唐津市教育委員会

令和4年4月19日（火）に、全国学力・学習状況調査が実施されました。

このたび、唐津市全体の結果・分析・改善策をまとめましたので、お知らせします。

この調査の目的は、児童の学習状況、課題等を把握するとともに、結果を踏まえて児童への学習指導の改善・充実に役立てるために実施されています。



1. 令和4年度 4月調査 全国、県との比較

小学 6年生	正答率			全国平均 との差	県平均 との差
	全国	佐賀県	唐津市		
国語	65.6	64	63	-2.6	-1
算数	63.2	62	60	-3.2	-2
理科	63.3	62	61	-2.3	-1

【正答率から分かること】

正答率で比較すると3教科とも、全国及び佐賀県との差は、約2～3ポイントとなっています。3ポイント以内とは、誤答数で比較すると1問に満たないイメージです。

2. 令和3年度 佐賀県学力・学習状況調査（12月調査）と4月調査の経年比較

今年度の小学6年生は、昨年度の12月に佐賀県学力・学習状況調査を受検しています。その調査と今年度の調査を基に、同一児童の経年比較を行いました。その結果については、次のとおりです。

【国語】

	令和3年度（12月調査） 正答率	令和4年度正答率
唐津市	57.3	63
県（対県比）	58.4(0.98)	64(0.98)

【正答率から分かること】

令和3年度12月調査の5年生が今年度の全国調査の対象児童となっています。令和3年度12月調査、令和4年全国調査ともに、対県比を下回っています。

しかし、令和3年度12月調査と令和4年全国調査の対県比を比較すると、国語は、0.98と変化は見られませんが、算数は、0.95から0.97と若干ではありますが、改善が見られます。

【算数】

	令和3年度（12月調査） 正答率	令和4年度正答率
唐津市	40.1	60
県（対県比）	42.3(0.95)	62(0.97)

※（対県比）は、県の正答率を1とした時の唐津市の割合です。

3. 児童意識調査の結果表 (○…上回っている、—…ほぼ同等である、▼…下回っている)

※ 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合の合計との比較 (%)

主な質問事項	全国との比較	県との比較
国語の勉強は好きですか (57.7%)	▼	—
算数の勉強は好きですか (64.2%)	○	○
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか (78.2%)	▼	—
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか (81.0%)	○	—
5年生までに受けた授業は、自分にあった考え方、教材、学習時間などになっていましたか (78.7%)	—	▼
学校に行くのは楽しいと思いますか(85.5%)	—	○
自分にはよいところがあると思いますか(77.0%)	▼	▼
人の役に立つ人間になりたいと思いますか (95.2%)	—	—
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか(53.9%)	○	○
将来の夢や目標を持っていますか(77.5%)	▼	▼
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか (96.5%)	—	—
普段 (月曜日から金曜日)、テレビゲームを、1日当たり1時間未満と答えた児童の割合 (20.7%)	▼	▼
1日当たり1時間以上勉強をしている(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)と回答した児童の割合(50.7)	▼	▼

4. 正答率が高い児童に多く見られる傾向

1. 毎日、同じ時間に寝ている。
2. 普段、テレビゲーム (コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲーム) をする時間が短い。
3. 自分には、よいところがあると感じている。
4. 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると感じている。
5. 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている。
6. 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。
7. 自分と違う意見について考えることや、友達と協力することが楽しいと感じている。
8. 家で自分で計画を立てて勉強をしている。
9. 課題の解決に向けて、自分で考え自分から取り組んでいると考えている。
10. 5年生までに受けた授業は、自分に合った考え方、教材、学習時間などになっていたと感じている。

5. 調査結果から考えられる成果や課題と改善策

- 国語や算数を好きだと感じている児童の割合は、国語は全国を若干下回っているものの、県と同等であり、算数は県や全国を上回っています。このことから、児童の学習に対する意欲は比較的高いと考えます。今後は、各教科で学んだことを生かしながら話し合い、自他の考えを深めたり広げたりすることができるよう、授業中における話し合い活動の質を高めるための工夫に取り組みます。
- 授業の学習内容については、児童が考えたい、調べたいなど感じたり、友達と協力して課題を解決することの喜びを感じたりすることができるような内容となるよう、日々の授業を振り返るなどして授業改善の取組を進めます。
- 学力向上指定校・推進校の公開授業において、先生方の優れた取組を紹介し、授業改善の具体について学ぶ研究会を開催します。
- 今年度より取り組む唐津市の学力向上の取組を通して、今まで以上に一人ひとりの児童の特性や学習進度に応じて学習指導を工夫し、児童の学力向上を目指します。
- 「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることはありますか」という問いに対して肯定的に回答した児童の割合が県や国よりも高く、地域活力を生かした学力向上の取組の成果が表れていると考えられます。一方で、自己肯定感を問う設問や「将来の夢や目標を持っていますか」という設問では、県や国よりも肯定的に回答した児童の割合が低くなっています。道徳の授業をはじめ、学校教育全体の活動を通して自己肯定感を育む活動に取り組んだり、キャリア教育の一層の推進を図ったりしていきます。
- 県や国よりも、1日当たりのテレビゲームの時間が長く、家庭学習の時間は短いという結果が出ています。学校と家庭の連携をさらに進め、家庭学習をさらに充実させます。

6. 子どもの学力向上のために家庭で協力いただきたいこと

- ・学校の出来事、友達のこと、勉強や成績のこと、将来の進路、地域や社会の出来事やニュース等、多くの会話をする。
- ・子供と一緒に、テレビ（インターネットも含む）やゲームの時間にルールを設ける。
- ・子供たちの頑張りを認め、称賛し、自己肯定感を高める。
- ・子供に努力することの大切さや最後までやり抜くことの大切さを伝える。

この調査結果は、学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることを踏まえ、唐津市全体の正答率は公表しますが、調査の目的や小規模等の実情等を配慮し、個別の学校の正答率等の数値による結果を公表しないこととしています。

**「学校」「家庭」「地域」が一体となって子供たちを育んで
行きましょう！**

